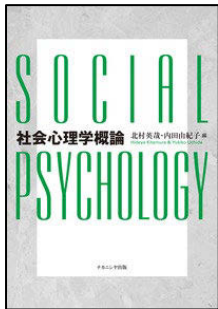


【著作紹介】 社会心理学概論



著者：北村 英哉（社会学部社会心理学科 教授） 【編】

出版社：ナカニシヤ出版

出版年：2016年9月発行

価格：3,500円＋税

ISBN：9784779510595

[所蔵状況を確認する](#)

<http://triton.lib.toyo.ac.jp/detail?bbid=U102211395>

内容：

古典的トピックから進化や脳科学など第一線のトピックまで。各章古典的知見から最新の研究まで網羅的に解説。社会心理学の全貌。

[ナカニシヤ出版の紹介ページ](#)

<http://www.nakanishya.co.jp/book/b244663.html>

教員メッセージ

広がりが大きくなった現代の社会心理学の全貌を見渡して、主とした応用分野も射程に入れた「いまどき」の社会心理学がこの1冊で味わうことができる決定版です。

目次

1 社会心理学の古典的研究

1. 個人過程
2. 対人過程
3. 集団・集合過程

2 社会的認知

1. 人と人とを結ぶ心の働き
2. 社会的認知の自動性
3. 意識と無意識の分業

3 ステレオタイプ

1. はじめに
2. ステレオタイプの形成過程
3. ステレオタイプ化

4. ステレオタイプと解釈過程
5. ステレオタイプの維持
6. ステレオタイプのターゲットの心理
7. おわりに

4 社会的推論

1. ヒューリスティックス
2. 帰属過程
3. 社会的推論におけるその他のバイアス
4. 社会的推論におけるバイアスは致命的な問題なのか

5 自己過程と自己制御

1. 自己認知：自分を知る
2. 自己制御：自分を動かす
3. 社会的自己：他者と関わる
4. おわりに：自己と適応

6 感情と道徳

1. 感情の理論
2. 気分の研究
3. 社会心理学と感情
4. 感情の潜在測定：AMP と IPANAT
5. 道徳感情 (moral feeling)
6. おわりに

7 態度と説得

1. 態度とは何か
2. 態度構造の理論
3. 態度測定
4. 潜在的態度に関する論点
5. 説得による態度変容

8 対人行動

1. 攻撃行動
2. 援助行動
3. 援助要請
4. ソーシャルサポート

9 人間関係

1. 親密な関係の形成
2. 親密な関係の維持

3. 友人関係と恋愛関係
4. 関係葛藤への対処と関係の崩壊
5. おわりに

10 コミュニケーション

1. はじめに
2. コミュニケーションに関する3つのアプローチ
3. まとめ

11 組織と集団過程

1. 組織と集団
2. 勢力と地位
3. リーダーシップと影響戦術
4. チームワークと集団生産性
5. 集団意思決定

12 集団間関係

1. 集団間葛藤と人間
2. 集団間葛藤を生じさせる心の仕組み
3. 最小条件集団で内集団ひいきが起こる理由：社会的アイデンティティ理論と閉ざされた一般交換システムに対する期待仮説
4. SITとBGRの違い：集団「間」と集団「内」
5. その他の内集団ひいき／集団間葛藤の説明理論
6. 集団間葛藤を支える社会的相互作用：なぜ解消が難しいのか？
7. 集団間葛藤の解消
8. 結語

13 インターネット

1. コミュニケーションを変えたインターネット
2. メディアとしての特徴
3. インターネット・コミュニケーションを介した対人関係
4. オンラインコミュニティにおける人間行動
5. 結論

14 文化

1. はじめに
2. 理論と方法論
3. 自己
4. 認知・思考様式と文化
5. 動機づけと文化
6. 感情と文化

7. 言語とコミュニケーション
8. 文化的産物
9. 文化差の要因と文化の変化

15 進化的アプローチ

1. 進化的アプローチとは何か？
2. 適応的認知
3. 協力の進化
4. 表情と魅力
5. 最後に

付録1 繰り返し囚人のジレンマにおけるしっぺ返し戦略（TFT）の進化の分析

16 アクションリサーチ

1. はじめに
2. アクションリサーチの歴史
3. アクションリサーチの理論
4. アクションリサーチのプロセス
5. アクションリサーチの困難
6. おわりに

17 健康

1. 健康の考え方と社会的行動
2. ストレス
3. 健康とパーソナリティ
4. 健康とポジティブ心理学

18 環境

1. 環境行動とは
2. 社会心理学理論による環境行動の説明
3. 環境行動の促進へのアプローチ
4. 環境問題の解決と課題

19 規範と法

1. 社会心理学における規範
2. 重要な3つの公正と相対的剥奪
3. 公正と感情
4. 文化と公正
5. 法への応用

20 社会神経科学

1. はじめに

2. 他者理解の脳内メカニズム
3. 社会的情動と社会的報酬
4. 社会神経科学における意思決定
5. おわりに

【著者】 北村 英哉（キタムラ ヒデヤ）

【学歴】

1991年, 東京大学, 社会学研究科, 社会心理学

1982年, 東京大学, 教育学部, 教育心理学

【学位】

教育学修士, 東京大学

博士（社会心理学）, 東京大学

【経歴】

2018年04月 - 現在, 東洋大学, 社会学部社会心理学科, 教授

2012年04月 - 2018年03月, 関西大学社会学部, 教授

2001年04月 - 2012年03月, 東洋大学社会学部, 教授

1994年04月 - 2001年03月, 東洋大学社会学部, 助教授

1991年04月 - 1994年03月, 東京家政大学文学部 専任講師

関連リンク

[東洋大学研究者情報データベース（北村英哉教授）](http://ris.toyo.ac.jp/profile/ja.01715a8be304878e801d37838b335bdf.html)

<http://ris.toyo.ac.jp/profile/ja.01715a8be304878e801d37838b335bdf.html>

[存在論的恐怖が初対面の異性に対する関係希求反応に及ぼす影響—肉食・草食動物プライミングを加えた検討—（東洋大学学術情報リポジトリ）](http://id.nii.ac.jp/1060/00006540/)

<http://id.nii.ac.jp/1060/00006540/>